

令和元年度第1回まちづくりふれあい懇談会記録書

1. 日 時 令和元年8月5日(月)午後6時30分～8時00分(1時間30分)
2. 場 所 駒場住民センター 2階会議室A・B(洋室)
3. 出席者 一般出席者 25人
4. 挨拶・説明
 - 18:30 開会
 - 18:31 市長あいさつ (3分)
 - 18:34 町連あいさつ (3分)
 - 18:39 新庁舎建設に関し寄せられたご質問やご意見等について (20分)
 - 18:50 質疑応答 (13分)
 - 19:13 地域FMラジオでの緊急防災情報の提供 (9分)
 - 19:23 質疑応答 (4分)
 - 19:27 ごみの分別に関する質疑応答 (26分)
 - 19:53 その他質疑応答 (7分)
 - 20:00 市長あいさつ (1分)

【新庁舎建設に関して】

- 現在の庁舎の敷地はどうなるのか説明してほしい。国からの交付金は総工費のどの程度もらえるのか。

(市) 現庁舎の敷地は公用車置場として利用することを考えている。今時点で買いたいという引き合いはない。

仮に50億円の総工費となる場合、その20%である10億円が国から財源措置される。

- 説明を3回ほど聞く機会があり、庁舎優先である事、建設場所など、理解できる。市民の意見を聞いて決めていくということに、個人的に従う。

コミュニティバスは市からの補助は入っているのか。これから高齢者が増え、免許返納者も増えていくことを考えると、金市館ビル跡地に市役所ができた時には、今よりも交通の利便性、料金面を良くしてほしい。

市民会館敷地が庁舎建設候補地とならなかったのは、庁舎を優先したためとのことだが、市民会館を優先しなかったという意味か、もしくは市民会館を壊して庁舎を建てればいいということか。

市民会館大ホールは千人規模のホールであり、とても重要である。

(市) コミュニティバスは市の補助、国の補助、利用者負担により走らせている。市内のバス路線については検討を始めている。全体の見直しの中でコミュニティバスについても見直しを進める予定である。

市民会館については、まだ耐用年数が残っていること、エコーセンターとの併用が可能なことから優先度が下がった。現状のままでは市民会館敷地は美術館が隣接地にあることもあり、庁舎敷地には面積が十分でない。

- 現庁舎、西庁舎に防災関係の部屋はあるのか。新庁舎建設の際は避難場所となるような部屋をさらに用意する必要があるのではないか。

市民会館を併設するという意見はなかったか。

(市) 今の庁舎には避難用の部屋というものはない。新庁舎建設の際はそういった部屋を用意するという構想になる。

市民会館の建て替えを同時にやると費用が倍近くになるうえ、大ホールがなくなる期間ができる。

市民会館を庁舎に併設するという意見はなかった。

耐震診断では4つの公共施設すべてが基準を下回った。すべてを建て直すことは財政的にできないので、優先順位を決めてやるということで、庁舎を優先することになった。庁舎と市民会館を同時にという議論はいままでなかったもので、初めてのご質問であった。一つ一つやっていくというのが今の考え方であり、まずは庁舎を優先してやっていく。

- 市民会館敷地も含めて、うまく土地利用できるといいが、そううまくいくものではない。